

<概要>

平成10年度（1998年度）におけるわが国の原子力発電所の時間稼働率及び設備利用率は、営業運転中の全原子力発電所（51基）平均で、それぞれ84.7%、84.2%と高い水準を示した。

<更新年月>

2002年01月（本データは原則として更新対象外とします。）

<本文>

平成10年度（1998年度）のわが国（日本）の原子力発電所の設備利用率は、営業運転中の全原子力発電所（51基、総発電設備容量4,4917万kW）平均で84.2%、また、時間稼働率は、平均で84.7%であった。わが国の電気事業用の原子力発電所は、1966年に日本原子力発電・東海原子力発電所（GCR）が初めて営業運転を開始し、1975年前後に初期トラブルや応力腐食割れ（SCC）等によって設備利用率は40～50%で低迷したが、その後、設備の改善などを実施し、1983年度に時間稼働率及び設備利用率ともに70%を超えて以来、10年以上にわたり70%台の高い比率を維持してきた。そして、1995年には80%を超えた。

1998年3月上述の東海原子力発電所（GCR）が閉鎖のため営業運転を停止した。今年度営業運転中の原子力発電所は51基である。

1998年度のわが国の原子力発電所の設備利用率及び時間稼働率を表1-1、表1-2に示す。また、炉型別の設備利用率及び時間稼働率を表2に示す。

設備利用率及び時間稼働率の定義はつぎのとおり：

(1) 設備利用率＝（発電電力量/（認可出力×暦時間））×100（%）

(2) 時間稼働率

・ユニットの時間稼働率

時間稼働率＝（発電時間/暦時間）×100（%）

・発電所別、電力会社別、合計の時間稼働率（出力按分をした平均時間稼働率）

平均時間稼働率＝（（認可出力×発電時間）の合計/（認可出力×暦時間）の合計）×100（%）

<関連タイトル>

[日本の原子力発電所の時間稼働率の推移（2004年度まで）\(02-05-02-01\)](#)

[日本の原子力発電所の設備利用率の推移（2004年度まで）\(02-05-02-02\)](#)

[平成10年度わが国の原子力発電所の時間稼働率及び設備利用率\(12-01-01-20\)](#)

<参考文献>

(1) 通商産業省資源エネルギー庁公益事業部原子力発電安全管理課（編）：原子力発電所運転管理年報 平成11年版（平成10年度実績）、火力原子力発電技術協会（1999年10月）p.29、p.44-47、p.54-57

表1-1 1998年度わが国原子力発電所の
設備利用率と時間稼働率(1/2)

(単位:%)

設置者	ユニット	認可出力 (MW)	設備利用率	時間稼働率
BWR				
日本原子力発電	東海第二	1,100	97.9	98.6
	敦賀1号	357	77.1	77.4
東北電力	女川1号	524	77.6	78.1
	// 2号	825	98.8	99.1
東京電力	福島第一1号	460	84.0	84.6
	// 2号	784	36.0	36.4
	// 3号	784	64.6	66.0
	// 4号	784	95.8	96.4
	// 5号	784	81.5	82.4
	// 6号	1,100	81.3	81.9
	福島第二1号	1,100	75.9	76.2
	// 2号	1,100	80.2	81.1
	// 3号	1,100	89.7	90.2
	// 4号	1,100	100.0	100.0
	柏崎刈羽1号	1,100	78.8	79.0
	// 2号	1,100	88.4	88.7
	// 3号	1,100	73.1	73.8
	// 4号	1,100	88.1	88.4
	// 5号	1,100	100.0	100.0
	// 6号	1,356	93.5	93.7
	// 7号	1,356	84.5	85.0
中部電力	浜岡1号	540	96.5	96.5
	// 2号	840	73.2	73.8
	// 3号	1,100	82.8	83.1
	// 4号	1,137	745.0	75.4
北陸電力	志賀1号	540	100.0	100.0
中国電力	島根1号	460	87.4	87.6
	// 2号	820	100.0	100.0
小 計		25,551	84.6	85.0

[出典]通商産業省資源エネルギー庁公益事業部原子力発電安全管理課(編):
原子力発電所運転管理年報 平成11年版(平成10年度実績)、火力原子
力発電技術協会(1999年10月)p.44-47、p.54-57

表1-2 1998年度わが国原子力発電所の
設備利用率と時間稼働率(2/2)

(単位:%)

設置者	ユニット	認可出力 (MW)	設備利用率	時間稼働率
PWR				
日本原子力発電	敦賀2号	1,160	87.7	88.2
北海道電力	泊1号	579	100.0	100.0
	//2号	579	84.2	84.7
関西電力	美浜1号	340	82.6	83.4
	//2号	500	82.0	82.5
	//3号	826	98.8	100.0
	高浜1号	826	84.3	84.7
	//2号	826	87.0	87.4
	//3号	870	87.0	87.4
	//4号	870	100.0	100.0
	大飯1号	1,175	88.7	88.8
	//2号	1,175	41.1	41.5
	//3号	1,180	93.7	94.2
	//4号	1,180	89.0	89.4
四国電力	伊方1号	566	88.1	89.1
	//2号	566	79.6	80.4
	//3号	890	83.5	84.2
九州電力	玄海1号	559	73.7	75.0
	//2号	559	73.1	73.8
	//3号	1,180	77.9	78.7
	//4号	1,180	76.8	77.4
	川内1号	890	95.4	96.7
	//2号	890	78.8	79.6
小計		19,366	83.7	84.3
合計		44,917	84.2	84.7

[出典]通商産業省資源エネルギー庁公益事業部原子力発電安全管理課(編):
原子力発電所運転管理年報 平成11年版(平成10年度実績)、火力原子
力発電技術協会(1999年10月)p.44-47、p.54-57

表2 わが国の原子力発電所の炉型別の 設備利用率と時間稼働率

1998年度

炉 型	沸騰水型 (BWR)	加圧水型 (PWR)	総合平均
基 数	28	23	51
出 力	2,555.1万kW	1,936.6万kW	4,491.7万kW
設備利用率(%)	84.6	83.7	84.2
時間稼働率(%)	85.0	84.3	84.7

[出典] 通商産業省資源エネルギー庁公益事業部原子力発電安全管理課(編):
原子力発電所運転管理年報 平成11年版(平成10年度実績) 火力原子
力発電技術協会(1999年10月)p.29、p.55、p.57